

富岡惣一郎

霧

南魚沼市
トミオカホワイト美術館
Tomiooka White Art Museum

休館日 ■ 毎週水曜日(但し、5/5は開館) 開館時間 ■ 9:00 ~ 17:00 (入館は16:30まで) ※3月は10:00開館
入館料 ■ 一般 500円(400円) 小・中・高校生 250円(200円) ※ ()内は団体20名様以上
南魚沼市民無料招待日 ■ 8の付く日(8日・18日・28日)
〒949-7124 新潟県南魚沼市上葉師堂142 TEL.025-775-3646 (公財)南魚沼市文化スポーツ振興公社

2021年3月27日(土)~7月6日(火)

桂林川味・高田 1982年/F100

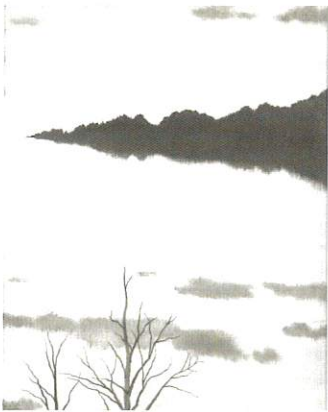
雪

雪の白に魅了された富岡惣一郎は、独自の油絵の具「トミオカホワイト」を開発し、刀鍛冶に特注した大きささまざまなペインティングナイフと独創的な描画方法で白の世界を表現しました。

富岡の描画方法(技法)は、前期と後期で異なります。前期(1953-1988)の技法は、トミオカホワイト絵具を均一に塗り、乾ききらないうちにペインティングナイフで絵具を削り乾燥させた後、全面に黒の絵具を塗り布で拭き取ることで、削り取った溝に黒絵具が入りモチーフが浮かび上がります。

対して、後期(1989-1993)は、ホワイト以外の色(黒・青・赤などから1色)を均一に塗り乾燥させ、さらにその上にトミオカホワイトを塗り重ね、乾ききらないうちにペインティングナイフでホワイト絵具を薄くあるいは厚く削り取ります。削り取ったところは下地の色が現れ山や川などのモチーフが描き出されます。また、絶妙な力加減でナイフを操り削ることで、うっすらと積もった雪や雲海をホワイトの濃淡で表現しています。

独自の技法を明かした富岡ですが、「霧」の表現方法だけは最後まで語ることはありませんでした。霧を描いた作品には、中国・桂林、熊野、十和田湖、富士山の風景などがあり、その中でも桂林は特別な場所でした。



十和田湖C 1975年/F20

1981年4月、雨季明けの最も霧が発生する時期に合わせ、久保田博二氏(*注)と共に文人墨客が愛してやまない桂林に向かい、船やプロペラ機を使い霧の中から見え隠れする奇峰を取材。大量のスケッチを抱え帰国した富岡は、翌年「桂林山水」シリーズを発表しました。

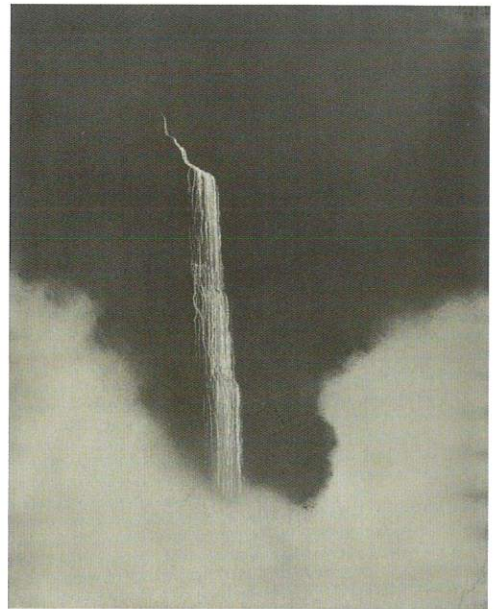
富岡がこの地を踏んだのは、これが初めてではありませんでした。

1944年太平洋戦争も末期に向かう頃、富岡は新潟県の兵隊として桂林地区に進軍しました。富岡自身多くを語りませんが、この岩山地帯の難行や戦闘は心の底でつらい記憶となっていたのではないのでしょうか。

桂林の作品は幻想的で優美な世界を感じる一方でどこかもの悲しさが漂います。兵隊として赴いた地を描く時、命を落とした仲間への追悼の意を込め表現していたのかもしれませんが。

本展では、幽玄で静寂な世界を表した霧の作品を中心に画家が辿った白の軌跡を紹介いたします。

*注 久保田博二氏(1939年生)は、世界最高の写真家集団「マグナム・フォト」唯一の日本人メンバー。



熊野原生林・滝B 1972年/F30

■展示リスト(都合により変更になる場合がございます。)

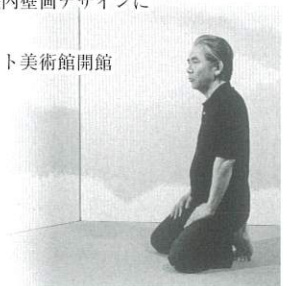
作品名	制作年	サイズ
抽象・ブルー A	1962	F30
雪国・ニューヨーク	不明	F10
雪国 N・O	1966	F100
雪国・海 E	1970	F30
雪国・ニューヨーク H	1970	F60
原生林 A	1971	F60
原生林 B	1971	F60
大杉谷原生林 D	1972	F60
京都・清水谷	1972	F30
月山	1975	F60
北アルプス・乗鞍岳 A	1976	F100
梢 G	*1	墨絵
太い幹 A	*2	墨絵
白い沼	1980	F40
けやき四本	1981	F60
雪・信濃川	1983	墨絵
北の海・流水・網走 B	1985	F100
昼花火・片貝 L	1989	F30
雪国・早春 B	1990	F100

作品名	制作年	サイズ
魚野川・冬	1991	F60
田子倉湖・冬 C	1991	F60
桂林山水・高田	1982	F100
桂林山水・空より C・D	1982	F100
桂林山水・霧・水上より・陽朔 B	1982	F100
桂林山水・霧・水上より B	1982	F100
桂林山水・空より A・B	1982	F120
桂林山水・水上より B	1982	F60
霧・大杉谷 D	1972	F50
霧・大杉谷 B	1972	F60
熊野大杉谷 A	1972	F30
熊野原生林・滝 B	1972	F30
十和田湖 C	1975	F20
雲海・富士山 C	1976	F50
雪雲 F	1993	F100
雪雲・夕・穂高	1993	F60
帯雲・利尻富士	1993	F60
雪雲 C	1993	F100
乱層雲・夕	1993	F100

*1は3/27~5/18、*2は5/20~7/6の展示となります。

富岡惣一郎 略歴

- 1922 新潟県高田(上越市)に生まれる
- 1953 第17回新制作展 入選
- 1961 第25回新制作展 新作家賞受賞
- 1962 現代日本美術展 第1回コンクール賞受賞
第26回新制作展 協会賞受賞
- 1963 サンパウロ国際ビエンナーレ展
近代美術館賞受賞
- 1965 三菱化成工業退社
~72年ニューヨーク居住
- 1984 東郷青児美術館大賞受賞
- 1989 日本政府専用機内壁画デザインに
作品4点採用
- 1990 トミオカホワイト美術館開館
- 1994 没 享年72歳



- 関越自動車道六日町ICから車 …… 15分
大和スマートICから車 …… 18分
- 上越新幹線浦佐駅からタクシー …… 20分
- 上越線五日町駅からタクシー …… 10分
(上越新幹線越後湯沢駅より在来線乗り換え下り方面)
- 上越線六日町駅からバス …… 20分
(山口行きまたは八海山スキー場行き乗車、上原師堂下車3分)

雪文化3館

- 十日町市博物館
 - 鈴木牧之記念館
 - 南魚沼市トミオカホワイト美術館
- 各館で、雪と人とが織りなす雪国特有の文化を紹介しています。巡観することで、雪への理解と愛着が一段深まります。

〈割引券〉
富岡惣一郎 霧 20% OFF
(有効期限)
2024年7月5日(水)まで